



# リハビリテーションを目指すケア — “最期までその人らしく生きる”を支える—

急性期であっても慢性期であっても、病院であっても介護施設・在宅であっても、私たちは、今どのように援助すればその人らしく生きてもらうことにつながるかを常に考えケアすることが重要ですが、業務の「効率性」をたいてい優先していませんか？「患者の安全」を優先して患者のその人らしさを阻んでいませんか？本講座では、「リハビリテーション（全人間的復権）」を根本理念としたケアを教授します。**頑張りすぎなくても、患者の自立性やその人らしさを目指した援助のコツが見つかるかもしれません！！**

2019年12月14日(土) 8時40分～受付 16時20分～閉会

会場：鹿児島大学医学部保健学科研究棟 601 講義室（5階）、基礎成人看護実習室（4階）

受講費：5370円 受講対象：看護職・介護職・ケアマネジャーなど

申し込み〆切：12月10日（火）、定員（40名）になり次第締め切ります（先着順）

## プログラム

### 午前の部（講義・演習3時間）

8:40～ 受付開始

9:00～9:10 オリエンテーション

9:10～10:20

“その人らしく生きるを支える”ケアとは

講師：丹羽さよ子

鹿児島大学医学部看護学専攻教授

10:30～12:10

“食べたい”を最期まで支える看護（講義・演習）

講師：鈴木真由美

鹿児島大学病院

摂食嚥下障害看護認定看護師

### 午後の部（講義・演習3時間）

12:20～13:20 昼食

13:20～15:00

身体力学からみたトランスファー（講義・演習）

—寝かせきりにしないために—

講師：大重 匡

鹿児島大学医学部理学療法学専攻教授

15:10～16:20

“その人らしく生きるを支える”ケアの実際

講師：福山 亮太

鹿児島大学病院リハビリテーション科

16:20 閉会の挨拶

閉会

お問い合わせ先 鹿児島大学医学部保健学科

TEL/FAX 099-275-6751（丹羽）、6760（益満） E-mail: [n-sayo@health.nop.kagoshima-u.ac.jp](mailto:n-sayo@health.nop.kagoshima-u.ac.jp)